



1578年、アルチンボルドは聖書のテーマを再考し、アダムとイブの珍しい解釈を題材とした1対の肖像画を制作した。それが「イブとリンゴ、そして対になるもの」(P221,223)である。横向き肖像は2人の人物のもので、誰であるかはわからないままである。女性のほうはイブ(P221)を、男性のほうはアダム(P223)を描いている。女性の顔は、さまざまなエロティックな遊びに興じている小さな子どもたちの姿からなっている。2人のプットが女性の髪に巻かれた真珠の髪飾りにしがみついており、別のプットがぶら下げている大粒の真珠はイヤリングになっている。

### 「冬」(細部1)

1573年

カンバスに油彩、76 x 63.6 cm

パリ ルーブル美術館